

平成30年度税制改正により令和2年分の年末調整から、生命保険料をはじめとする各種控除証明書等について勤務先へ電子データにより提供できるよう手当されたことを受けて、年末調整手続の電子化に向けた施策が実施されます。

※今回は例年手書きによる控除申告書の作成を行っていることを前提にご説明します。

【概要】年末調整手続の電子化とは

(1) 従業員が控除証明書等を電子データで取得し、それを申告書作成ソフトへインポートし、年末調整申告書データを作成すること

(2) 勤務先が従業員から(1)の申告書データ及び控除証明書等データの提供を受け、これを利用して年税額等の計算を行うこと

この2つの実施により年末調整手続をデータ処理することが可能です。また、それに併せて10月に国税庁から年末調整控除申告書作成用ソフトウェア(以下年調ソフト)が無償提供されます。

【電子化によるメリット】

➤ 従業員のメリット

- ・手書き作業・証明書等内容の転記の省略
- ・年調ソフトの入力支援機能や控除額の自動計算機能が使用可能
- ・年調ソフトにおいて基本情報などのデータ保存・翌年使用が可能

➤ 勤務先のメリット

- ・自動入力を利用することで控除額の検算や添付資料等の確認作業が軽減される
- ・あらかじめ従業員に控除申告書の用紙を配布する必要がなくなり、申告書・控除証明書いずれも電子化できれば書類保管コストの削減も期待できる

【電子化への対応】

電子化への対応方法は下記表のようにいくつか挙げられます。完全な電子化である①を目指すことは難しい場合も、④のように部分的な対応を行うことで一定の効率化を図ることができると考えられます(上述したメリット内の入力支援機能や自動計算機能などが使用できるため)。

		従業員の証明書の取得方法	
		データ取得	ハガキ等取得
控除申告書の作成・提出	データ提供	①データ取得・データ提供	②ハガキ取得・データ提供
	印刷提出	③データ取得・印刷提出	④ハガキ取得・印刷提出
	手書き提出		従来

なお、従業員から控除申告書をデータで受け取る表中①・②の場合は税務署へ「源泉徴収に関する申告書に記載すべき事項の電磁的方法による提供の承認申請書」の提出が必要となります。こちらは提出した月の翌月末日までに税務署長から承認又は承認しないことの決定の通知がなければ、提出月の翌月末日に承認があったものとされます。他にも表中③の場合には、従業員はデータで取得した証明書をQRコード付控除証明書として新たに作成し、勤務先に提出する必要があります。

きやっちぼーる342号でもご案内した通り令和2年分の年末調整においては控除申告書の様式変更などもありますので、年末調整手続の際にはご注意ください。

詳細等参考ページ：<https://www.nta.go.jp/users/gensen/nenmatsu/nencho.htm>

前田の《ちょっと経営を考えよう》第349回

うっとうしい梅雨もようやく終わりをむかえ、逆に真夏日が続く熱中症に注意をしなければなりません。またコロナもいっこうに収まる気配がないどころか愛知県でも感染者が急増し、ついには愛知県独自で「緊急事態宣言」が出されました。この夏休みに帰省もできず困っている人も多いですね。皆様充分にご注意ください。

ところでこの5月～7月の皆様の会社の業績はいかがでしょう。試算表等を拝見させていただきますと、売上が30%近く落ち込んでしまっている会社も増えてきています。この厳しい中の経営は大変ですね。頑張ってください。

さて上場会社の2020年4月～6月期の決算で、自動車関連会社が総崩れの中、唯一トヨタが黒字を確保したという記事がありました。なぜか…記事にはこう書いてありました。

- ① 原価低減は前期実績で2650億円の効果があり、毎年2000億～3000億円規模に達する。結果として「リーマン・ショック時よりも200万台以上、損益分岐点を下げることができた」（豊田章男社長）。
- ② 新型コロナという未曾有の事態すら、さらなる体質強化の機会と捉える。世界各地の工場では、稼働休止で生まれた時間を使い、製造工程を詳細に見直した。部品共通化や部材調達見直しなど従来の活動を超越、保守工程の一部を自社で手がけ、「損益分岐点についてはもう100万台下げる取り組みを進めている」（幹部）。

トヨタもいろいろな問題はありますが、我々が参考にすべき取り組みや智慧がいっぱいありますね。参考にしてください。

いつもお話をしますが、政府の補助を当てにするだけでなく、自力で会社を成長させていくことが大変重要かと思えます。

智慧をしぼって考えましょう。ちょうど休み中が一番いいですね！！

前田の《今人生を語る》第254回

めざめよ日本人 (176)

日本人よコロナに負けるな！コロナは天災か人災か、どちらにせよ、コロナ問題はいずれ終わるから、その後に残るのは、やはり中国とアメリカの戦いの話になる。

いずれにせよ、コロナ危機に直面して、日本人ならみんな「ニッポンファースト」というしかないだろう。